

システム概要書

| | |
|----------|---------------|
| 会社名 | U2食品株式会社 |
| システム名称 | U2マート店舗管理システム |
| ドキュメントID | 01_システム概要書 |
| リビジョン | 初版 |
| 作成日 | 2008年1月1日 |
| 作成者 | kato(s) |
| | |

| | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|
| 検印 | | | | | | |
| | | | | | | |

| | | | | |
|---------|----------|---------------|-----|-----------|
| システム概要書 | システム名称 | U2マート店舗管理システム | 作成者 | kato(s) |
| | | | 作成日 | 2008年1月1日 |
| | サブシステム名称 | | 更新者 | |
| | | | 更新日 | |

1. 企業情報

社名： U2食品株式会社(ゆーつーしょくひんかぶしがいしゃ)
 創立： 平成元年
 所在地： 大阪市(本社)
 堺市(U2マート1号店… 来春開店予定)
 従業員数： 500名
 売上実績： 年商250億円(昨年実績)

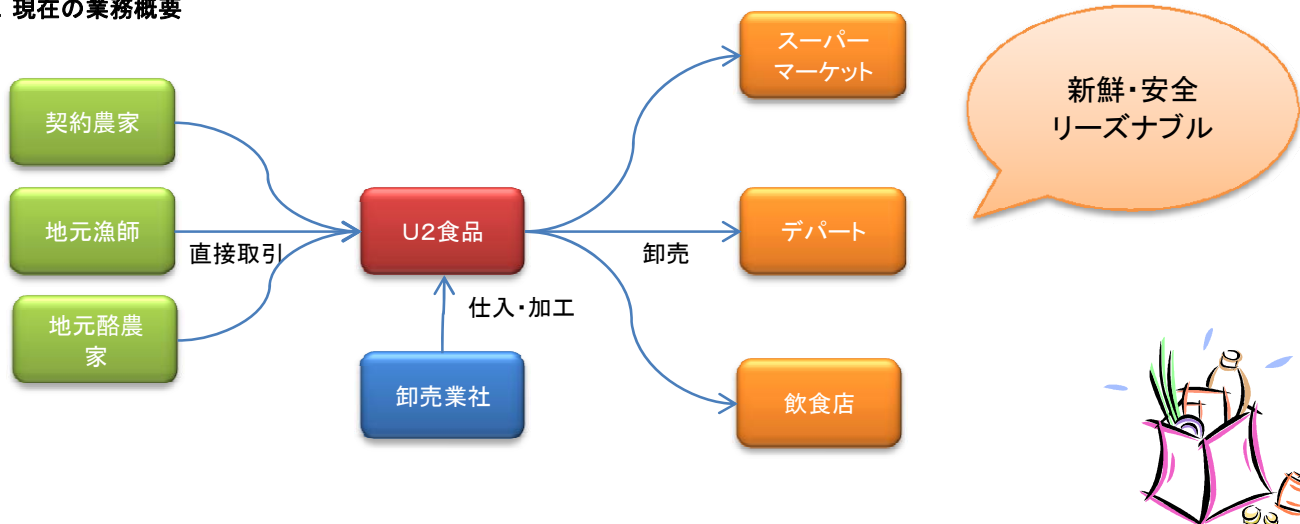
2. 業務内容

U2食品株式会社(以下 U2食品)は、平成元年に創立し、地域密着型の食品加工・卸売業を中心として展開しており、近畿圏の大手スーパーマーケット・デパート・飲食店を中心に取引をおこなっている。

食品の卸売をはじめ、契約農家からの有機・無農薬野菜の調達、また地元漁師からの直接の調達・加工をした商品を手頃な価格、新鮮な状態で取引できる点を強みとして業績を伸ばしてきている。



3. 現在の業務概要



| | | | | |
|---------|----------|---------------|-----|-----------|
| システム概要書 | システム名称 | U2マート店舗管理システム | 作成者 | kato(s) |
| | | | 作成日 | 2008年1月1日 |
| | サブシステム名称 | | 更新者 | |
| | | | 更新日 | |

a) 仕入先情報

- 一般卸売業者 … 約50社(日本全国、中国などアジア諸国)
日用品、加工食品など全般
- 契約農家 … 13農家(大阪府下)
米、野菜など有機・無農薬に限定(それ以外の商品は取り扱わない)
- 地元漁師 … 4取引先(大阪・和歌山)
魚全般。近海で水揚げされたもの。または地元漁師が取引(卸売)している遠洋商品全般
- 地元酪農家 … 6取引先(大阪・奈良)
牛乳、チーズ・ヨーグルトなど乳製品、加工品。
卵、鶏肉、豚肉、牛肉(地元ブランドの商品が中心)



b) 得意先情報

スーパーマーケット、デパート、飲食店を主とする。近畿圏内約120得意先。
現在は卸売り販売だけをおこない、一般消費者を対象とした販売はおこなっていない。

U2食品は、すべての仕入れ先情報を必要に応じ、すべて公開している。
安全・安心を売りとし、地元仕入れ先と密接な協力関係を築き、コスト面でもパフォーマンスを発揮し、リーズナブルな価格で顧客を確保している。

4. 今後の展開

- a) U2食品は、地域密着型の販売にて業績を伸ばしてきたが、これ以上、売上高・営業利益についても大きな伸びが期待できない状況になってきている。それは事業の拡大とともに、契約仕入先や商品管理、得意先への販売網など個別のきめ細かな対応を心掛けるための時間と費用が多くかかりすぎるようになったため、今後の業務拡大についても慎重になっている。

そこで、既存の事業(卸売販売)とは別に新たなビジネスモデルでの事業拡大の計画の一環として、来春に、消費者への直接販売の形態となる自社ブランド店舗(U2マート1号店)を開店させる。

このU2マートは、いわゆるコンビニエンス方式の店舗とし、既存の取引先の販売網とは、競合しないとらんでいる。まずはモデルケースとして1号店をオープンさせ、順次新しい店舗を展開していく予定とする。

b) 業務形態



| | | | | |
|---------|----------|---------------|-----|-----------|
| システム概要書 | システム名称 | U2マート店舗管理システム | 作成者 | kato(s) |
| | | | 作成日 | 2008年1月1日 |
| | サブシステム名称 | | 更新者 | |
| | | | 更新日 | |

5. システム化概要

a) 背景・目的

U2マートは、一般消費者向けの店舗経営については今回が初めての試みとなる。
 今回のシステム化計画は、店舗業務を最大限に効率化するための**店舗管理システムを構築すること**である。

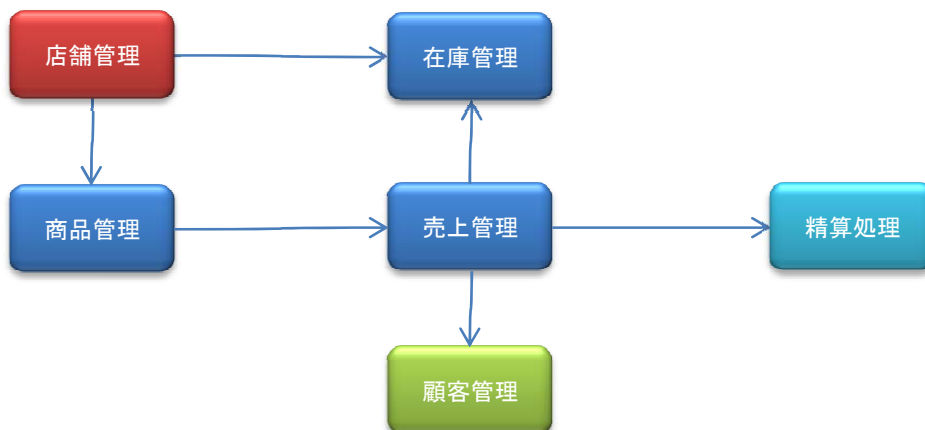
店舗管理システムの構築については、レジ(POS)管理・商品管理も含む店舗運営のベースとなる機能のため、
 来春の開店に合わせてのリリースをおこなうことが必須となっている。

来春の開店については、店舗管理の基本となる機能の構築および、本部(U2食品本社)とのデータ連携機能を
 開発対象範囲とし、店舗業務の効率化のためのシステム開発については2次対応でおこなうものとする。

6. 業務要件

a) システム概要図

店舗管理システムは、店舗管理を目的としたシステムであり、以下に示すとおり、
 商品管理・在庫管理・売上管理・精算処理・顧客管理の大きく5つの機能を持つ



b) 商品管理

商品基本情報および、商品の種類を管理するためのカテゴリ情報を管理する。
 商品コードについては14桁(GTIN)にて管理をおこなう。
 ※GTINについては次を参照(<http://www.dsri.jp/baredi/gtin/index.htm>)

商品は、1つのカテゴリに属する。

商品は、名称、カナ名称、規格、製造番号、仕入先情報、単価情報、単位、入り数等の情報を持つ。

新規商品について随時追加登録を可能とし、登録された商品の情報のメンテナンスも可能とする。

c) 在庫管理

店舗に存在する在庫数を商品別に管理する。

本部よりの仕入れがおこなわれた際に在庫を増加させる。

| | | | | |
|---------|----------|---------------|-----|-----------|
| システム概要書 | システム名称 | U2マート店舗管理システム | 作成者 | kato(s) |
| | | | 作成日 | 2008年1月1日 |
| | サブシステム名称 | | 更新者 | |
| | | | 更新日 | |

レジにて売上が発生した際に在庫を減少させる。

棚卸により在庫の確認をおこない在庫数量を修正することができる。

d) 売上管理

売上処理についてはレジスターでおこなうものとする。

売上処理、返品処理を可能とする。

売上処理時にポイントカードの入力または、客層(男女、年代)の入力をおこなえるようにする。